

ファイナンシャルプランナーならではの 「独自研修プログラム」

企業にとって社員教育は最も優先されるべき「投資」です

「金を遺すは下、事業を遺すは中、人を遺すは上」と言われる通り、人材育成は、企業責任の1つです。

適切な社員への教育は、将来大きなリターンを期待できます。例えば、売上の向上、クレームの減少、業務改善による残業時間の減少は顕著に効果として表れやすいものです。適切な営業スキル研修は、売上向上の他に社内外のコミュニケーション力の向上を促します。結果、顧客とのコミュニケーションの改善が図られクレームの減少や何度もプレゼンをやり直すような無駄を減少させることが可能となります。

また、社内コミュニケーションが円滑になれば、業務の見直しや会議の進め方も質に違いが生じてくるでしょう。業務内容の見直しや残業時間の短縮は、効率化と経費の削減になります。

長時間労働は、社員の健康にも関係します。社員の健康が損なわれてしまえば、長期の離任や退職など企業にとっては大きなダメージとなります。業務改善による長時間労働を削減は、社員の健康と労務リスクからの企業防衛につながります。

Office Iwasaki は、中小企業に教育機会を低コスト、高品質な研修で増やし、企業の発展と人の生活の安心に貢献します。

企業理念と個人のライフプランニングを軸にした、独自の研修プログラム

個人の人生の羅針盤がライフプランだとすると、会社の方向性や存在意義を示す羅針盤は「企業理念」です。企業理念を理解し、社員1人ひとりのビジョンを明らかにすることで、自分の役割や進むべき方向を知ることができます。そうすれば、主体的に業務改善に取り組める自律型社員が育ち、業績向上へつながる組織力を高めることにつながります。

組織力を高めるには、社員1人1人が**主体的に生きる**こと、**生活の経営力**をつけること

FP相談業務であるライフプランニングは目的と目標を設定し、どうやってその目標を達成していくかをエンドポイントから逆算し布石を打っていきます。

同時に想定されるリスクへの対応も必要になります。この作業を通じて、生活をマネジメントする感覚を体験します。誰もが経営者であることを認識してもらうことから始まります。

この体験を通じ、業務の「目的」と「目標」の違いが認識され、結果から考えることが可能になります。

自社の強み、理念、歩むべき方向性を社員1人1人が深いレベルで認識し、共有することで組織力を高めることができるのです。

Office Iwasaki では、FPならではの視点から、**業務改善、組織力向上、経費削減と企業のリスク対策**を可能にする5つの基本研修プログラムと2つの実践プログラムを用意しています。

5つの基本研修

イノベーションの鍵となる「コミュニケーション力研修」

結果に差が出るコンサルティング「営業スキルアップ研修」

個人と組織のモチベーションをあげる「目標設定力研修」

組織の改革と変革を促す「リーダーシップ研修」

人間力を高め、求心力が身につく「マネジメント研修」

2つの実践プログラム

経営理念実践プログラム

数字に強くなる業務改善プログラム

